

施策評価調書(4年度実績)

				施策コード	Ⅱ-2-(2)			
政策体系	施策名	商業の活性化とサービス産業の革新	所管部局名	商工観光労働部			長期総合計画頁	87
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	多様化するニーズに対応した 商業・サービス業の振興	県産品の販路開拓・拡大による 物産振興

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2%以上向上したサービス産業関連企業数(社)	①	H25、26 平均	30	54	51	94.4%	60												
ii	サービス産業の労働生産性(万円/人)	①	H23	309	393 (R2)	375 (R2)	95.4%	393 (R2)												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね 達成	販路開拓やトレンドを捉えた新商品の開発、業務効率化等、生産性の向上につながる取り組みを積極的に支援したことにより、目標値を概ね達成した。	概ね 達成
ii	概ね 達成	県産品の商談会等販路開拓に取り組み、またデータ等を活用した情報発信など生産性向上を図ったことで、目標値を概ね達成した。なお、サービス産業の労働生産性は、国が5年に1度行う経済センサスに基づく指標であり、R4年度の実績値は直近のR2年度実績の数値を記載している。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援システムの導入による業務効率化等に取り組み、県内6店舗での実証結果に関する報告会を開催し、県内事業者への事例共有を図った。 ・Webを活用した情報発信講座を20回開催し、合計326人が参加するなど、参加事業者の関心の高まりが図られた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッグショップ(坐来大分)を活用した出張販売や、展示会等を通じた県産品のPRにより、県外の認知度向上の取り組みを推進した。 ・海外の販路開拓では、越境ECやバイヤーとの商談会を活用したファーストステップ支援を実施した結果、新たに9社が本格的な取組を開始した。また、留学生等と協働した試飲・試食マーケティングや海外サポート補助金を利用し、事業者の海外展開準備を支援した。 ・コロナ禍等による影響で売上が減少した県産品の販路を確保するため、Web物産展によるECでの販売促進の強化や、自社通販サイトの構築・運用に係るセミナー開催(計7回)などにより、県産品の販路拡大を支援した。 ・商談機会確保のため、大都市圏のバイヤーとのオンライン商談会や、大都市圏等からバイヤーを招く展示商談会を開催したほか、百貨店等での大分フェアへの出展支援を通じ、取引機会と商品改良に向けた意見を得る機会を創出し、県内メーカーのレベルアップを図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	地域商業・まちづくり推進事業	75.0	210
	サービス産業先端技術活用実証事業	112.5	210
②	県産品販路拡大サポート事業	471.4	211
	フラッグショップ活用推進事業	96.5	211
	県産加工食品海外展開サポート事業	112.5	212
	県産品EC販路確保支援事業	135.0	212

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○令和4年度大分県中小企業活性化条例推進委員会(R4.10)</p> <p>・コロナ禍によって、一旦人手を手放していた飲食店が、今人材確保に苦労している。加えて、賃金アップや物価高騰もあり利益が出ない状況にある。</p>	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス産業の労働生産性の向上に向けては、Web上の情報の質・幅を担保するためのデジタルマーケティング支援を行うことで、個店の売上向上と持続可能な地域商業の実現を目指す。 ・物産振興では、引き続き事業者のECへの新規参入や運営を支援するほか、量販店等と連携した「大分フェア」の開催や、大都市圏バイヤーと県内メーカーとの商談機会の創出に取り組む。海外における販路開拓についても、ジェトロ大分など関係機関とのさらなる連携強化を図り、引き続きファーストステップ支援策により海外に挑戦する事業者を増やすとともに、海外展開に必要な規制対応・国際認証取得など段階に応じた支援を行う。 ・フラッグショップ(坐来大分)の活用では、物価高騰の影響を注視しながら、レストランやギャラリーを活用したイベントの開催や広報による効果的な集客を図り、フラッグショップのさらなる活用と情報発信機能の強化に努める。 ・DESTINATIONキャンペーンに向け、県産品の販路拡大に取り組むとともに、土産品のリブランディングを通じて「魅力的な大分県産品」の再構築を目指す。